

令和2年度 第3学年 授業改善推進プラン

	児童の実態	改善プラン
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や言語の定着に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字ドリルの取り組み方や、漢字練習の仕方を見直し、学年として統一して取り組む。定着のために、授業と家庭学習の連携を図り、漢字練習の時間を確保する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 例年に比べ、町探検、社会科見学など、体験的な活動を学習させる機会が少なかったため体験から思考する力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の学習の理解を広げたり深めたりするためには、体験的な活動が大切である。時期や内容を工夫しながら、体験的な内容を取り入れた学習を実施し、児童の学びを深める。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 既習の学習内容の定着に個人差がある。特に文章問題、単位の換算を苦手とする児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数的活動を充実する。朝学習の時間を活用し、基礎基本の定着を図るとともに文章題の内容の理解が深まるように取り組む。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 例年に比べ、観察活動など、体験的な活動を学習させる機会が少なかったため、実体験と学習を結び付けた思考とすることに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の学習の理解を広げたり深めたりするためには、観察や実験などの実体験が大切である。時期や内容を工夫しながら、体験的な活動を取り入れ、児童の学びを深める。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの基本的な技能の習得に個人差がある 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢・息の使い方などの、基礎的な技能の習得を図るために毎時間確認の時間を設定する。 友達同士で見合ったり、聴き合ったりする活動を取り入れることで、基礎的な技能の定着を図る。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 発想はあるが、表し方がわからず困る児童が見られる。 お互いに認め合い、高め合う力をもっと身につける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が困っていることを全体に共有して解決方法を例示しながら、表現方法の幅を広げられるようにする。 鑑賞の時間に、互いの作品のよさを伝え合う活動を充実させる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動の技能の定着に差が見られる。特に、ボールを投げる際に正しいフォームで投げるのが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい技能が身に付くような活動を授業に取り入れる。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 英語を使うことに対して漠然と苦手意識のある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップで段階的に指導していくことで、苦手意識を減らすようにする。簡単な英語を使ったゲームや読み聞かせなど楽しく取り組めるような工夫をする。